

暗夜行路（1959）

メディア 映画
ジャンル ドラマ 文芸
製作国 日本
色彩 B&W
時間 144分
初公開日 1959/09/20
公開情報 東宝

【解説】
白樺派の志賀直哉が発表した同名長編小説を、八住利雄が脚色し豊田四郎が監督した文芸作品。
時任謙作は祖父の愛人だったお栄との結婚を望むが、自分が祖父と母との間にできた不義の子であることを知らされ愕然とする。家族はもちろんお栄本人にも結婚を反対された謙作は、旅行先の京都で直子という女性と知り合い結婚する。お栄から窮状を訴える手紙を受け取り、謙作は朝鮮を訪れお栄を連れて帰国した。しかしその留守中、妻の直子が従兄の要と過ちを犯したことを知る。謙作は一人絵で鳥取を旅し大山を訪れた。自然の中で心を落ち着けた謙作は、すべてを許そうという気持ちになっていた。謙作はコレラに倒れてしまうが、そこに駆けつけたのは直子だった。

【クレジット】
監督 豊田四郎
製作 滝村和男
佐藤一郎
原作 志賀直哉
脚本 八住利雄
撮影 安本淳
美術 伊藤憲朔
音楽 芥川也寸志
助監督 平山昭夫
出演 池部良 時任謙作
山本富士子 妻・直子
淡島千景 お栄
仲代達矢 Tatsuya Nakadai 要
千秋実 時任信行
杉村春子 お才
中村伸郎 謙作の父
北村和夫 高井
仲谷昇 石本
汐見洋 永井老人
三津田健 佐伯
賀原夏子 お仙
長岡輝子 愛子の母
荒木道子 本郷の婆や
南美江 寺のかみさん

市原悦子
岸田今日子
加藤武
小池朝雄
文野朋子
加藤治子
田代信子
本山可久子

お由
廓の女
京都の医者
水谷
謙作の母
京の宿女中
尾道の婆さん
看護婦